

製品名: BACE1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe87292

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:100,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:56 kDa; Observed MW:70 kDa

抗原情報

遺伝子名	BACE1
別名	ASP2; Bace; C76936
遺伝子 ID	23821
SwissProt ID	P56818
免疫原	マウス BACE1 の組み換えタンパク質

背景

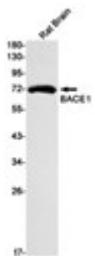
この遺伝子は、アスパラギン酸プロテアーゼのペプチダーゼ A1 ファミリーに属するタンパク質をコードする。選択的スプライシング

によって複数の転写産物バリエントが生じ、そのうち少なくとも1つは、タンパク質分解によって成熟プロテアーゼへと変換されるプレプロタンパク質をコードする。この膜貫通型プロテアーゼは、アミロイド前駆体タンパク質からアミロイドβペプチドを形成する最初の段階を触媒する。アミロイドβペプチドは、ヒトアルツハイマー病患者の脳に蓄積するアミロイドβプラークの主成分である。この遺伝子のホモ接合型ノックアウトマウスは、広範囲にわたる神経系障害、成長遅延、代謝異常、新生児致死率の上昇を示す。[RefSeq 提供、2015年11月]

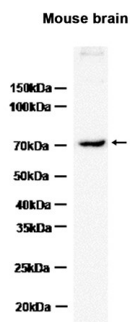
研究分野

-

画像データ



BACE1 抗体 (1:1000 希釈) を使用したラット脳溶解物中の BACE1 のウェスタンプロット検出。



AMRe87292 を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物をウェスタンプロット分析しました。